

膀胱全摘除術、回腸導管造設術を受けられる患者様へ ～入院診療計画書～

泌-8.19-1

氏名		様		病名: 膀胱癌		症状:		年 月 日				
経過	入院(手術前日)			手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3～6日目	術後7～14日目	退院		
	手術前		手術後									
	手術には 時 分に行きます											
月 日												
達成目標	【手術前】 ・手術について理解し、準備が整っている。 ・安心して手術に臨むことができる。			【手術後】 ・手術に起こる合併症(出血・腸閉塞等)が無い。 ・痛みが最小限で過ごすことができる。		・腸の動きが良く、水分、食事がとれる。 ・創感染が無い。 ・血尿による尿管の閉塞がなく経過する。 ・ストーマ周囲の皮膚障害が起きない。 ・セルフケアの準備ができる。			【退院基準】 ・創部の異常が無い。 ・発熱が無い。 ・ストーマの管理ができる。(本人・家族)			
食事	昼は低残渣食です	★夕食時に OS-1 500ml 1本と アルジネートウォーター2本を飲みます	21時から絶飲食	起床後、6時15分までに アルジネートウォーター1本を飲みます	絶飲食です	回診で飲水の許可が出たら、 OS-1 500ml 1本と アルジネートウォーター2本を開始します	★昼より5分粥から開始します	★全粥に変更します	★状態をみて米飯に変更します			
安静度	制限はありません	手術室には歩いて向かいます 歩けない方は移送車で向かいます		帰室後ベッド上安静		・回診で歩行の許可が出ます(初回は看護師が付き添います) ・腸閉塞予防のため、頑張って歩きましょう ・リハビリを開始します						
排泄	制限はありません	朝6時に坐薬をします		ストーマが作られ、排尿のための細い管が2本入ります		★練習のために3～4日毎にパウチ交換を行います ★ストーマ管理を覚えましょう						
清潔	シャワー浴可	手術室で創部の剃毛をする場合があります		毎日身体を拭きます		・背中・痛み止めの管が抜けるとシャワー浴ができます ・手術後の傷が順調に治るように清潔を保ちましょう ・パウチは貼っていてもシャワー浴が可能です						
内服薬 点滴	・内服中の薬を確認します ・薬剤師より薬の説明があります	医師の指示で6時に薬を飲みます		・手術室で点滴をします ・酸素吸入をします ・背中に痛み止めの細い管が入ります		★痛い時は痛み止めを使います 我慢せずお知らせ下さい ★食事が始まったら腸の動きを良くする薬を内服します			背中・痛み止めの管を抜きます	服薬指導があります		
検査 処置	・ストーマの位置を決め印をつけます ・血液検査があります	・心電図モニターを装着します ・血栓予防のための機械を足に装着します		血液検査があります		お腹のレントゲンを撮ります	3日目採血・尿検査があります	★ストーマ部の管を1本ずつ抜きます	★ストーマの抜き			
説明 指導	・入院生活、手術に関する説明をします ・ストーマパンフレットの説明をします ・パウチ交換DVD視聴していただきます ・麻酔科医による説明があります	・御家族は手術後に医師から説明があります ★痛みや吐き気、お腹が張るなど辛い症状がある時には看護師に知らせましょう 注意 ・貴重品は金庫で保管してください ・メガネ、入れ歯、指輪、カツラは必ず外します(補聴器はつけたままで構いません) ・手術当日に髪を剃りましょう ・お化粧はできません ・マニキュア・ペディキュアは除去してください		・適したストーマ装具を選択します ・パンフレットを参考にパウチ交換の練習をします ★ストーマ販売所(ムトウorホクヤク)との面談があります ☆医療社会事業部から身体障害者手続きについて説明があります ☆栄養指導があります(家族同席可)			★再診日に医師より病理結果を説明します ★再診日にスキンケア外来も受診します 装具一式を持参してください。					
備考	◀手術に必要なもの▶ 平オムツ5枚 テープ式オムツ1枚 オーブントップ1箱(2個入) 当院ローソンで購入できます OS-1 500ml 4本			・40歳以上の方は、別紙《総合機能評価表》を用いて総合的な機能評価を行う場合があります。								

★状態に応じて、予定が変更になることがあります
★わからないこと、心配なことは遠慮なく医師・看護師にご相談ください

主治医 印

主治医以外の担当者

看護師:
薬剤師:
栄養士:

主治医署名

※主治医の押印がある場合は不要

旭川赤十字病院 泌尿器科 3階みなみ病棟